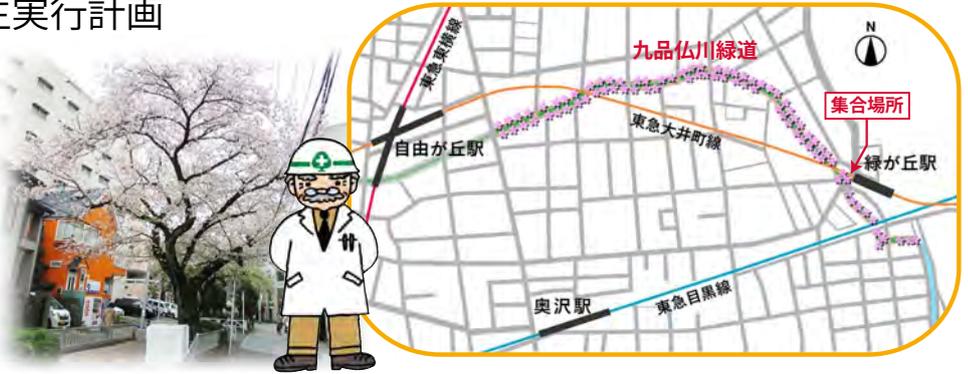


目黒区からのお知らせです

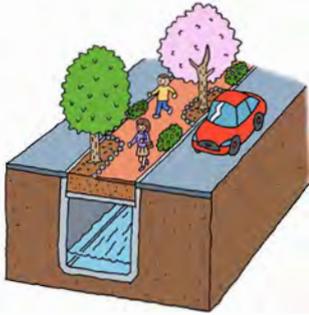
九品仏川緑道の桜を将来にわたって残すため、住民の皆様のご意見を伺いながら **サクラ再生実行計画**を作成します。**10月22日に現地調査会**を開催しますので、ぜひご参加ください

目黒のサクラ再生実行計画

目黒区では平成27年度から目黒のサクラ保全事業を行っており、今年度は九品仏川緑道のサクラ再生実行計画を作成します。**10月22日(木)に、現地調査会を開催する予定です。**それに先立ち、桜の現状と課題について概略をお知らせします。



九品仏川緑道の桜の現状

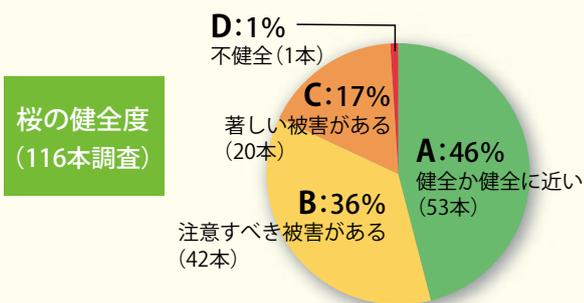


九品仏川緑道には116本の桜が植えられており、地域のシンボリックな桜並木を形成しています。しかし近年、桜の老齢化や環境の変化により、衰えの目立つ木が増えてきました。そこで、何が問題となっているのか、九品仏川緑道の桜の現状を調査しました。

九品仏川緑道はもともと川でしたが、コンクリートの蓋をかぶせ、その上に土を盛り、緑道として整備し、桜を植えています。そのため、土壌が薄く、土が固く締まっており、大型の桜では根を十分に広げることができず、生育不良に陥っていることがわかりました。また、幹や枝には亀裂や空洞、菌類による病気、害虫など様々な問題が見つかりました。

● 樹木診断の結果(平成30年10月)

8割(A判定、B判定)の桜はすぐに植替える必要はありませんが、根や幹の材の腐朽や病虫害等の被害がみられ、樹勢が衰退傾向の桜もあります。



● 土壌調査(令和2年8月)

土壌は薄く、固く締まっていて、水分や酸素の不足で新たな根を伸ばせていません。



桜の現状の課題 ～九品仏川緑道～



根を伸ばせない
(土壌が固い、成長後の根の大きさと植付空間が釣り合わない)



幹や大枝、根株が腐朽している
(菌類由来の病気を発症している桜が多い)



桜の植付け間隔が狭い

現地調査会開催のお知らせ

桜の将来像と一緒に
検討しましょう！
桜の現状を現地調査
会でご説明します。
ぜひご参加ください。



「新型コロナウイルス感染予防のため＜事前申込制＞といたします」

日 時：令和2年10月22日(木) 13時30分～14時30分

(小雨決行、荒天の場合は10月29日(木)13時30分～14時30分)

集合場所：緑が丘駅(高架下) 13時15分 受付開始

解散場所：緑が丘2-15先(踏切付近)

説明方法：緑が丘駅から緑が丘2-15先(踏切付近) まで(約650m)、
2班(1班10名程度)に分かれ緑道をゆっくり歩きながら班ごとに
樹木医が桜の現状・課題と将来像のイメージ案を説明します

募集人数：20名まで (20名を超えた場合は抽選といたします。応募くださった方全員
に当落通知を郵送いたします)

募集締め切り：10月9日(金)必着 (はがきの場合は当日の消印有効)

募集方法：FAX・メール・郵便で受け付けます

「九品仏川緑道サクラ再生実行計画現地調査会参加希望」と明記の上、
お名前・郵便番号・住所・電話番号を記載してお申し込みください

九品仏川緑道
サクラ再生実行計画
現地調査会
参加希望

1. 名前
2. 郵便番号
3. 住所
4. 電話番号

送り先

FAXの場合：FAX番号

申込書に目黒区みどり土木政策課施設計画係 宛と記載
03-3792-2112

メールの場合：メールアドレス

midoridoboku04@city.meguro.tokyo.jp

郵便の場合：送付先

〒153-8573

目黒区役所 都市整備部 みどり土木政策課 施設計画係 宛
※郵便番号と担当部署名のみで届きますので、住所は必要ありません

【担当部署】目黒区都市整備部みどり土木政策課

〒153-8573 東京都目黒区上目黒二丁目19-15

電話：03-5722-9745 FAX:03-3792-2112

メール：midoridoboku04@city.meguro.tokyo.jp

【お願い】

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、マスクを着用して
ご参加ください。
- ・当日、熱、咳、だるさのある方は、出席をお控えください。

目黒のサクラ基金にご協力をお願いします

サクラ基金は、ふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園
等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧
いただくか、みどり土木政策課までお問い合わせください。

URL: <https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakin.html>



ふるさとチョイス

